



研究部会報告

● 政治と社会と行政のOR ●

・第12回

日時：2012年2月17日（金）15:00～18:15

出席者：10名

場所：政策研究大学院大学5階 講義室C

テーマと講師、及び概要：

- (1) 「救急車と救急呼び出しの需給バランスを考慮した再配備計画モデルについて」

古田杜宏（東京理科大学）

救急車の現場到着時間を改善するために、救急車の台数を増やすことなく再配備を計画するためのモデルが報告された。特に現状の各地域における救急車の需給バランスを評価した上で、供給不足の地域を減少させるための再配備方法が議論された。さらに、東京都23区の救急システムを対象に提案モデルを適用した結果が示された。

- (2) 「東日本大震災における津波被災地域の被害と復興への課題」

石井儀光（建築研究所）

東日本大震災において津波で被災した地域の人的被害や建物被害の状況とその地域毎の特徴が紹介された。地域ごとに復興方針が決まり復興まちづくりに向けた将来都市ビジョンが示されている。そのビジョンを具体化するための様々な課題について個別事例を交えながら、復興に向けた将来の方向性についての議論がなされた。

・第13回

日時：2012年2月22日（水）15:00～18:15

出席者：9名

場所：政策研究大学院大学4階 研究会室

テーマと講師、及び概要：

- (1) 「可能な限り理想に近づける議席配分は本当に理想に近いのか？」

一森哲男（大阪工業大学）

アメリカでは、州内の区割りは同一サイズになるように行われているが、各州への議席配分は議席数が整数値であるので、完全な人口比例とはならない。そのため、何らかの基準で可能な限り理想に近づけようとするが、それは必ずしも好ましい結果につながる訳ではない。この点に着目し、様々な議席配分方法の特徴が議論された。

- (2) 「社会システム分析とOR：今後の展望」

大山達雄（政策研究大学院大学）

政治、行政、医療、教育、交通等の公共政策諸分野や、地球規模の資源、エネルギー、食料、環境といったグローバルな分野における政策諸課題の解決が要請されている。ORの理論と手法を用い、公共諸部門における問題解決、意思決定、政策策定等に適用した実例が紹介され、将来の展望について議論された。

● 防衛と安全 ●

・第38回

日時：2012年3月16日（金）16:00～18:00

出席者：34名

場所：政策研究大学院大学 研究会室1C

テーマと講師、及び概要：

- (1) 「NCWネットワーク研究動向」

寺島美昭（三菱電機(株)情報技術総合研究所）

- (2) 「電子戦研究動向～AOC参加報告」

河東晴子（三菱電機(株)情報技術総合研究所）

近年のNCWの進展に伴い、迅速な民間技術導入の動きが活発化している。技術面から見た防衛通信と民間通信の違い、それらの研究動向等について説明した。講師が参加・発表した、米国でのAOC年次総会の報告を行った。総会、シンポジウム等を通じて得られた米国・欧州他各国の電子戦研究の最新動向等を説明した。